

●第18回委員会 会議要点録

平成18年7月20日 18時30分～21時
多摩市役所 特別会議室

出席者：檜垣正巳委員長 白鳥光洋副委員長 岡崎和子委員 小澤尚子委員、武智秀之委員 堤香苗委員

事務局：企画政策部長 企画課長 企画調整担当主査 企画課主査 企画課主事

第6回評価部会

(1)外部評価対象事業「コミュニティセンターの運営」について

(2)外部評価対象事業「広報活動」について

今後の予定

- 第19回 8月28日(月曜) 18時30分
- 第20回 9月4日(火曜) 18時30分

事務局より新助役及び新企画政策部長の紹介

【自治推進委員会】

委員 第18回自治推進委員会を開催する。本日は前回に引き続き評価専門部会を行うので、座長に進めていただく。

【評価部会】

委員 コミュニティセンターは実際には所管課と運営協議会とで運営されており、所管課のお話は聞いたが、運営協議会の方々の話は伺っていない。運営協議会の方々と意見交換する必要があるかどうか意見をいただきたい。評価部会については、今回と次回でまとめたいが、運営協議会の方の中で議論してもらって、自治推進委員会でまた議論をするというのは時間的にも難しい。個人的な考えでは、運営協議会の方にこの場に来ていただいて、受益者負担について、委託されている業務の内容について、条例の枠の中での運営となっているが、自由な裁量での運営について等、どう考えるか伺いたい。出席できない方には、文書でご提出いただくということではどうか。

委員 期日をいつ頃にするのか。日にちもせまっているので、議論をして意見を伺うよりも、質問を絞って回答してもらおうというほうが良い。

委員 運営している方の意向を聞かずに評価しても、良い評価にはならないので、運営協議会の方から、実際に意見を聞いた上で、評価結果をまとめる。

広報事業について

委員 引き続き広報事業の評価について、評価シートの項目に沿って見ていく。事前に提出されている評価シートをたたき台にしてご意見をいただきたい。

1、必要性(1)サービスの対象となる地域、人、団体の範囲および人数

「多摩市の住民すべて」、とした。白鳥委員は「住民、従業者、学生等」となっているが同じ意味かと思う。ちなみに、コミュニティセンターも多摩市の住民を対象としているが、多摩市以外の方の利用を認めていないのか。

事務局 使えないということではないが、多摩市の住民に比べて優先度が落ちる。

委員 武蔵野市では三鷹市との市境の地域では暗黙で使えるということもある。

委員 多摩市に在住・在学・在勤する人というのではどうか。

事務局 自治基本条例の中では、市民の定義として、在住・在学・在勤のほか、市内で事業を営むもの、活動する団体等をいれている。

委員 その考え方と同じで良い。

1(2)このサービスがない場合の問題について

私は、「情報伝達に齟齬が生じる。」「住民の権利が十分保障されない場合がでてくる。」とした。白鳥委員は「自治体の標準的な事業として必要」とされている。

委員 このサービスがなければ行政と市民の間に距離ができてしまう。また、情報伝達の前に、「市民生活に必要不可欠な」という言葉をいれたほうが良い

1(3)民間で類似のサービスを行っているか

委員 個人や企業のホームページというのは類似のサービスではないか。

委員 何をもって、類似のサービスとするかによると思う。

委員 「たまっふねっと」などの、ミニコミのホームページ版的なものもある。

委員 断片的には類似のサービスとしてあると思うが、網羅的なものはないと思う。

委員 民間の提供するサービスを活用するというのは、コストパフォーマンスを考えるうえで良いと思う。

委員 企業のホームページには違う目的があると思う。

委員 いくつか、子育てのものなどで、個人で作られているものもある。こういう分野では市民が自発的に行っているものもある。と言う書き方では。1(4)他の自治体で類似のサービスを行っているか

委員 行っている。評価はAとした。これでよろしいか。

委員 良い。

委員 広報もつきつめると、民間でということを考えていく必要があるが、現在のところでは自治体の標準的なサービスとして必要、将来的にはいろいろ考えていかなければいけない。

委員 Aとする。

2、経済性・有効性(1)コスト対サービス、について

サービスは、たま広報の発行部数を考えたが、評価は難しい。

(2)目標対実績も評価が難しい。

委員 広報は評価が難しい。現在が効果的かつ効率的に行っていると言われると、そうであるとばかりも言えない。

委員 広報の発行部数は 57,000 部の発行。

事務局 年間市民一人あたり約 290 円、人件費込みだと一人あたり約 475 円となる。

委員 効果が眼で見えない。

委員 何をみてイベントや講演会に参加したかが、全ての項目で取れているときに、広報を見て参加したというのがわかれば指標となる。

委員 市内で行われる講演会の情報を得るには、広報が一番多い。ただ、飛びぬけて多いと言うわけでもないが。

委員 効果は測定不能。

委員 目標は定めにくい。

委員 たとえば、FMやたまTVの視聴率があると思うので、それにより効果を図っては。

委員 視聴率はアウトプットであるので、それによる効果はわかりにくい。

委員 若い人の方がFMを聞いているというのが、前回のデータで、でていた。

委員 市からのお知らせをどのくらい聞いているかを把握すべき。視聴率が極端に悪いならば出資をやめる。あるいは、聞いてもらえる時間に変えてもらう等が必要。

スポンサーならば、視聴率はもらってしかるべき数字だと思う。市のことを聞いてもらう事が大事なので、どの番組の視聴率が高いというのを把握する必要がある。

委員 若い方は音楽番組をよく聞いていると言うことがあった。行政がそういうサービスを提供していくのであれば、目標をどこに置くかで判断するのだと思う。

委員 これらを盛り込んで記入する。「視聴率が悪いならば、検討してください」と言う書き方にする。

委員 何を知らせるかという目標に応じて、年度で重点を置いて伝える内容があれば、また、ターゲットを誰に絞るというものがあれば、明確にしてはどうか。

委員 目の不自由な方はラジオ、耳が不自由な方は、TVや広報で情報を伝達するというのを意識した広報活動を行ってはどうか。

委員 市民は市の広報が5日と20日に出ているというのを知っているのか。FMであれば災害時に情報が流れると言うのをどれだけの市民が知っているか。FMが一番聞かれるのは、花火大会の日だと思うので、そのときに浸透させていけば良い。広報の媒体を目にしたから伝わると言うのではなく、この日ここに行けば情報が確実に

に伝わるという場所の設定を。

委員 実績をもう少し作れるような検討を。

委員 効果と効率の違いがよくわからない。

委員 先日のデータでは、効率は他の自治体と比べればまあまあ良いと思う。

委員 他の自治体と同じだけ使えばいいのかと言う話ではない。

委員 評価のABCDのつけかたもどうかと思うのでこれも要検討。

委員 今後は効果を測定するツールを工夫しなければならないと思う。

委員 とりあえずAにして、文章で意見を付け加えるということではどうか。

委員 そのようにする。

3、公平性について

広報に受益者負担をもうけるのかということかと思う。

委員 無料でいいと思う。

委員 本当に有効な情報ならば有料でもいいと思うが。

委員 市民からの情報もあるので、その部分は無料でも。

委員 役所が有料の情報を提供することはあるのか。

委員 有料で頒布しているものもあると思うが、高いから、一部の人がしか使わないからという理由があると思う。

(2)達成度

委員 目標の基準がわからないと、達成度がわかりにくい。

委員 「知りたいことを知ることができるか」という満足度で測定することになるのか。あらゆる情報を掲載するのは難しいので、どこまで載せるかというのはあると思う。

委員 みんな公平といえば公平。

委員 不満もあまり無いように思う。

委員 評価はB。バランスがとれているということでよいかと思う。

4 市民参画・市民協働について

市民アンケートにあったが、公共施設のホームページのネットワークでコミュニティセンターなどのホームページを市民が作るという参画の仕方はあると思う。市役所のホームページでは市民参画をというのとは現実的ではない。白鳥委員も同じ意見かと思う。

白鳥委員は市民の声をきいたHP作りを推進するということではよいか。

委員 その他の特記事項については、白鳥委員の意見を記入する。

5、緊急性については、「なし」とする。

総合評価はAで良いか。

委員 Aで、意見を付すということで良い。

委員 総合意見で書いているので良い。

委員 記入してあることのほかに、付け加えることはないか。

委員 緊急にお知らせするときは、FMでお知らせする、というような案内はしているのか。

事務局 していない。

委員 多摩テレビで出しているミニコミ紙にはある。

事務局 市の広報では特に案内はしていない。

委員 FMは若い人は聞いているが、高齢者は少ないのでは。発信者側はみんなが知っているつもりで発信しているので、緊急の場合はどこでというのを周知する必要がある。高齢者はラジオを置いていない方が多い。緊急のお知らせで遅れをとるのではないかと思う。テレビなら違うと思うが、どちらかで受け取れると言うのを周知すべき。

委員 多摩市の「今日の出来事」のような情報は流しているのか。

事務局 特に流してない。防犯のお知らせはしている。

委員 広報で、FMや多摩テレビの番組案内をお知らせするのも良いのではないか。

委員 短い時間でもいいので、みんなが受け取れる時間帯で情報を流す必要がある。

委員 今は、お金はだしているのに、市としての意向が伝わっていないのではないかと。もっと伝えるべき。多摩市の広報で問題だと思うのは1ヵ月前に枠をとらないといけないうのがあると思う。原稿の敷居が高いので、「今日の情報」のようなものを流せるものがあれば、広報と差別化できると思う。

委員 お互いに相乗効果があると思うのでやった方が良い。

委員 地域のは直接現場にいかなければわからない。直接お知らせできるものがあれば、その時間帯に合わせれば多摩の様子がわかるという時間があれば、見る人も増えると思う。

委員 緊急情報の周知、多摩テレビの企画への意向をだすこと、広報紙とFM放送、テレビの役割分担をすることを総合意見に書き加える。

委員 ホームページも見にくいのを待っているのではなく、積極的な情報発信が必要かと思う。

委員 現在は不特定多数への情報となっているので、ターゲットを絞ることも必要。

委員 面白いもの、見てもらうものを作るならば、学生などと一緒に作っていくことも必要。現在の枠の中でやろうと思うと職員がオーバーワークになるので、市民が主役となる仕掛けが必要。面白い情報が必要ならば民間の活用を。

委員 情報量が多く、たま広報が情報伝達の基本となっている。たくさんの情報を掲載しているので見難い部分もある程度仕方がないかと思う。

委員 ある特定層にしか必要のない情報を、広報に載せる必要があるのか。該当者にはDMが来るものが多いので、該当者が限定されるものは、市民みんなにお知らせする必要はないのでは。お知らせを行っていない場合は必要だが、大概はお知らせしている。

委員 広報誌や掲示板は全ての人を対象とすることになる。

委員 もう少しITやユビキタスが進化し情報伝達の双方向化がすすむと、広報は高齢者向けへの転換もできると思う。

委員 いまは広報をみて知るということがあると思う。受動的なものなので必要性はある。

委員 重複してお知らせする必要があるのか。

委員 お知らせするのが目的なのか、みんなに知ってもらうのが目的なのかというものもある。

委員 誰が必要としているかカテゴリー化するのが難しいので、網羅的になるのではないか。

委員 選挙などでは、選挙権がある人には通知が来る。

委員 住民票をもとに把握されているので、年齢と地域で市民に対して、こういう施策をやっていると言うのは必要だと思うが、ここに載ってない情報もあるのかとおもう。

委員 市民全員に必要な情報と言うのは少ないと思う。成人式など範囲が非常に狭い。

委員 今は受けられないものでも、将来こういうものも受けられるということをお知らせすることにもなる。DMも来るはずのものが、来ていない場合などには広報で知ることもある。

委員 ホームページで特定の層を狙って、情報が欲しい人だけに送るというのも考えられる。

委員 ホームページの中で市民の意見に対して答えているページがある。意見は大抵の場合できないことのお詫びをしている。そういうのは必要なのか、という気はする。

事務局 特に多い市民意見に対して、答えているものである。

委員 慇懃無礼なものが多い。

委員 中央大学の生協では白石さんっぽい受け答えがはやっているが、市がやるとなると難しい。大学でも学生のクレームへの対処があるが、公表するものなので表現に気を使っている。

委員 広報は情報が多ければ多いほどいいと思う。限度があるのでどこで整理をするの

かが問題。

委員 情報は必要なものが多様化しているので全てに応えるのが難しい。

委員 何が必要か、対象が多いから必要と言うわけでもない気がする。

委員 情報を加工して出す必要があると思うが、取捨選択が難しい。

委員 市外の人にむけた広報と言うことで、保育が充実しているであるとか、他市より多摩のほうが面白いなどの広報をすることも必要ではないか。

委員 多摩市にはブランドがないという話を以前にされたと思うが、多摩市には「〇〇」がある、という多摩市の特徴となる「〇〇」がないと広報は難しい。

委員 市民参加度が1位とか2位とかいうが、世界に冠たるものがあるというのが大事だと思う。

委員 公民館などでは関心のある人が多いと思う。他市の広報が何誌かあればおもしろいと思う。

委員 企業誘致を考えた場合は、市内でいくら広報をしても意味がない。企業向け広報の取り組みは？

事務局 URと一緒に、講演会を中心としたビジネスロケーションを八王子、多摩、稲城と共同で取り組んでいる。

委員 多摩市を売り込むという広報があれば良いと思う。

事務局 新聞社の調査で、イメージとしての子育てしたいまちの順位が昨年都内11位から今年9位にあがった。市も重要施策として子育てに取り組んでおり、その成果が出ている。

委員 市の重要施策などは広報の中に盛り込んでいるので、あとは読み手のイメージだと思う。

委員 広報マンとして伝えていくということを考えると、新聞へのニュースリリースを積極的にすべき。

委員 市民参加度で全国1位になったということも、もっと使っていないと損。

委員 瞬間的に1位になっても、順位はいずれ変わっていく。全園で産休保育をやっているとか、延長保育をやっているとかいうことをPRしていくべき。

事務局 戦略的な広報というのが必要だと思う。

委員 パブリシティの検討なども意見に付け加える。速報性を生かす工夫をということを加える。

委員 速報性ということであればホームページも活用した方が良い。

委員 ホームページに速報的なニュースが少ない。

事務局 毎日更新をしているわけではない。緊急の場合は職員がやるが、数が多い場合

は委託業者がやる。現在、速報性の手法について検討している。

委員 広報は市議会のことが載っていないと思う。一緒にできないのか。市議会だよりはあまり読まれていないように思う。年中やっているわけでもないのに、広報と一緒にすることはできないか。

委員 市議会だよりは、広報とは別に新聞折込しているのか。また、一年間の発行回数
は。

事務局 市議会だよりは編集も議員がやっており、広報とは別に発行している。新聞折込
も別にしている。また、一緒に折込を行っても費用は変わらない。発行回数は基本
的には議会定例会終了後で年に4回。

委員 他の自治体で、一緒にやっているところをみたことがない。

委員 新しいことをやってもいいのでは。

委員 議事録も議会が作成しているのか。

事務局 そのとおり。

委員 議事録のホームページへの掲載が遅いように思う もっと早ければ良い。

委員 家庭ごみ有料化をなぜ否決するのか、議会だよりでも説明が必要ではないか。

委員 議会が何をやっているのか、市民にわかるように、また物事が正しく前に進むよう
に、議会でも考えていただきたい。一方的な表現をしていることがある。

委員 また「福祉だより」や、教育委員会の広報も、統一的な対応をとってやったほうが
良い。

委員 次年度への課題と言うことで入れてはどうか。

委員 広報の総括的な運用を考えるということを盛り込んでいく。市議会も含めて、バラ
バラにやっているが、総括的にということを書き込む。

委員 見ているほうはみんな市がやっていると思っているので。

コミュニティセンターについて

委員 前回の話を書き加えてみた。受益者の負担のことがあったので、「負担を増やす、
収益性を高める等」の点から将来的に検討すると言うこと、「収益的事業をコミセン
の収益に」と言う可能性があるかどうかということを書き加えている。市民参画は条
例で平等なサービスを提供するということをしているが、条例を変えること
を含めて、地域のことは地域で考えて、平等な部分と、特性を生かしてそれぞれの
サービスの内容について、工夫していいのではないかと加えている。企
画の内容については、いろんな団体とのネットワークをつなげて行って、協議会に
参加することも積極的に進めて行ってということを加えた。個人の参加を阻害するこ
とになっているのではということで、団体登録のあり方の改善についても触れた。公

共施設のコミセンの評価の背景になっているのは公共施設の全般的見直しをというものが共通の考えであるように思うので、地域で建設されていないところとの再編成なども含め、コミセンがない地域にもコミセン的施設をと。企画のあり方で、協議会だけではなく、市民全体にPRしていくような多摩市の住民が自己評価するような形でフォーラム等前向きに進めていくことも必要なのでは。

委員 市として統一的なものが必要。コミセンが地域のものと言う感じがしているが、多摩市の施設として建設されていることもあるので、コミセンが親睦だけでいいのか気になる。地域の活性化という視点での取り組みが必要ではないか。

委員 自然発生的なものとしから働きかけて、予算をつけてというのがあってもいいと思う。防災などもひとりで暮らしているひとがどこにいるかとかいうことも、行政から投げかけてみるとか。

委員 きっかけは行政からというのもいいので。

委員 学童まつりでは、多摩市で一堂に集まりドッジボールや出店をだして、ということもやっている。他の学童クラブはどんなところか知る機会にもなる。行くきっかけ出会うきっかけとなるように、また、コミセンに人を集めると言うことと、両方もっていくことが必要。

委員 休みの日に出かける人の子どもを預かってということはあるのか。

委員 事故の際の保険等あれば問題ないとおもう。

委員 専門家でないと務まらないのか。

委員 多摩市では有料保育もやっているの。

委員 コミセンはお年寄りが集まって、というイメージがある。

委員 子ども対象の碁やパソコンの教室もやっている。

委員 青少年が集まれるところがあるといいと思う。

委員 2番にもうすこし書き加える、コミセンに行政が関与するということを書くのは難しいが。

委員 必要な支援をおこなうということを書き加えればよいと思う。

委員 また次回もあるので、コミセンのシートを作り直し、広報もまとめてくる。次回はできればコミセンの運営協議会の人をお呼びして、意見交換をしたいと思う。来ることができない方には文書をいただくということにする。1時間くらいとって、市民からのアンケートを盛り込んでいきたい。

委員 自治推進委員会ではこう考えているが、どう思うかということを知りたい。項目も今決めた方がよいのではないか。「条例の枠の中での運営は」とか「受益者負担をふやすことは」とか、収益事業のこととか、企画・運営のあり方でネットワーク化がどのくらい進んでいるのか、防犯防災がどう進んでいるか

委員 コミセンで一番大きい課題が何かということも入れたい。

委員 利用者が固定していることかと思う。その中で新しく来た住民などが、自治会とどのようにして結んでいくのかというのを聞きたい。

委員 ボランティアが集まらないというのが課題かと思う。

委員 新しい人たちへのアプローチの仕方、どのようにしているのか、していないのか。

委員 日ごろ考えていること、考えていることなど。

委員 以上のことについて伺う。

事務局 7月末までということでアンケートを実施している。現在1件。

委員 コミセンにHPを造った方がいいという意見だと思う。それを市役所が支援していてもいいのではと言う意見かと思う。市民からこういう意見があるということを添付していく。

委員長 日程について、運営協議会の意見をきいて後1回くらいでまとめられればと思う。8月に1回きめたい。

事務局 8月4週くらいに再構築プランの評価をいただきたい。

委員長 行政評価のタイムリミットはいつか。

事務局 同じくらいである。

委員長 意見を聞くとすると早い時期はむずかしい 8月25日に運営協議会の会議があるとのこと。

委員 協議会の内容は反映されるのか、どちらに反映されるのが良いか。

委員 8月28日ではどうか。

事務局 では、評価を28日に。

事務局 再構築プランの問題点についてご意見をいただきたい8事業くらいを前回は2回で評価した。8月2週くらいに進捗状況がまとめられるので、28日に評価のまとめと、再構築プランの資料説明をし、9月初旬でもう一日とりたい。

委員長 4日に再構築プランについて評価をする。